

2015年7月度家計分析

提出者数 148名の提出がありました。登録者180名、提出率82.2%、前年比3名減、前月比4名減でした。

収入 給料(夫)96.7%、同(妻)90.7%でしたが、賞与(夫)106.6%、年金(夫)383.2%、同(妻)161.8%と増えていました。実収入計は96.5%と厳しい結果でした。厚生労働省が9月4日に発表した7月の毎月勤労統計調査の速報によると、1人あたりの現金給与総額(名目賃金)は、前年同月比0.6%増で2か月ぶりに増え、物価の影響を加味した実質賃金は0.3%増で、2013年4月以来2年3か月ぶりにプラスになったそうです。物価の上昇に追いつかない状態が続いていた賃金の伸びがようやく実質プラスに転じたと言えます。これが来月の私達の収入につながると嬉しいのですが、どうなるでしょうか。

非消費支出

税金計94.3%、社会保険計103.3%でした。国民年金を1年分払われた方がいらっしゃいました。私的保険計は91.3%でしたが、20~50代で損害保険が増えていました。40代以上の各年代で生命保険の年払いをされた方がいらっしゃいました。非消費支出計は97.0%でした。賞与月だったので20~50代は社会保険と税金が上位にきています。

税金、社会保険私
的保険

消費支出

今年の夏はとて暑く、水・光熱費が101.9%でした。ただ省エネが浸透し、各ご家庭で気をつけていらっしゃいますので、使用量は減っているのに料金が高くなっているのが実情のようです。保健医療費は136.8%で20~50代で増えていました。交通費136.2%、教養娯楽費125.3%で、夏のご旅行に行かれた方が増えたと思われます。その他977.3%はお子様のご結婚のお祝いや費用を出された方が複数いらっしゃったからです(おめでとうございます^-^)。消費支出計は98.1%でした。まだまだ財布の紐は固いのが現実です。

ランキング

	総合	20代~30代	40代	50代	60代以上	年金世帯
1	社保 68,051	社保 76,972	社保 102,967	社保 113,447	食費 67,414	食費 65,048
2	食費 67,528	家地 72,552	家地 78,501	税金 102,753	その他 42,479	その他 45,891
3	税金 57,889	食費 57,730	税金 74,669	食費 71,008	教娯 40,850	教娯 40,107
4	家地 38,146	税金 46,797	食費 66,936	私保 59,114	私保 32,608	私保 30,166
5	私保 36,035	教育 39,421	教育 54,769	家地 54,746	税金 27,095	交際 24,672
6	職主 35,099	職主 30,326	職主 42,357	職主 52,589	社保 24,012	職主 22,491
7	教娯 34,212	自動車 29,656	教娯 32,943	教育 41,814	交際 23,569	税金 19,734

税金：税金計、社保：社会保険計、私保：私的保険計、家地：家賃地代、

住他：住居費その他、水光熱：水道光熱費、教娯：教養娯楽費、職主：職業主婦費